


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森第一高等養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	友達と話し合おう		
	単元(題材)の目標	グーグルワークスペースの機能を活用して、自分の意見と友達の見解を比較しながら話し合い、考えを広げたり、深めたりする。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	知的障害教育	部	2・3 年 6 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	軽度から中度の知的障害を主とした学習グループである。口頭指示を理解し、簡単な文章の読み書きや意見の発表ができる集団である。学習活動におけるタブレット端末の活用は日常的に行っており、操作することに負担がない生徒たちである。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	タブレット端末、コンピュータ、プロジェクタ、スクリーン、タッチペン		
	使用したアプリケーションの名称	Google Jamboard		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	タブレット端末の活用には、生徒全員がとても意欲的に取り組んでおり、手書き表現に苦手感をもつ生徒も、キーボード入力では容易に考えたことを表現できる。入力した内容が視覚的に確認できることから、自分の意見と友達の見解を比較して見ることで、新たな気づきを生んだり考えを広げたりしながら、話し合いを深めることが期待できる。			
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句作りの学習を通して、Google Jamboard の付箋機能に意見を出し合う活動を行った。付箋機能やタッチペンの利用に慣れ、学習意欲を高めることができたが、意見を比較し深めるところまでは広げられなかった。 ・ テーマを設定した話し合い学習では、付箋機能に各自が考えを書き、似た内容のものを話し合いながらまとめる活動を行った。書いた付箋がすぐ視覚化されることに抵抗感をもつ生徒がいたため、スプリッドビュー機能を活用しメモと併用することで、思考から発表まで時間を掛け、考えを広げながら自然な形で話し合いを深めることができた。 			